

都工業

6月から一般向けセミナー

コーチング教室事業化

職場環境向上を支援

人材派遣などを手がける、都工業（本社豊田市十橋町8の76、安本拡人社長、電話0565・29・7077）は、相手に自分で考えて行動する能力を引き出させる「コーチング」のセミナーを事業化する。これまで取引先などを集めて単発的に実施した講義をカリキュラムにまとめ、6月から一般を対象にスクールを開校する。派遣業で培った人材教育のノウハウを生かし、多方面から企業の職場環境向上をサポートする事業展開を図る考え。

（豊田・強田裕史）



昨春秋に取引先など関係者を集めて開いた
コーチング・セミナーの様子



安本拡人社長

第1弾として用意した「CBコース」は、1日4時間程度の講義を2週間に一度の頻度で開催する。講師は、契約を結んだプロのコーチング・トレーナーが務める。内容は、コーチングの基礎を学ぶ「初級編」。互いがコーチ役になりながら、傾聴・質問・承認の基

本的なスキルを実践で身につけることに比重を置くという。受講者は20人を予定。年内には上級者向け「CAコース」、来年はスキルのレベル維持と醸成を目的とした「STCコース」の設置も計画している。派遣先がほぼ製造業で占められる同社は、登録スタッフを対象とした安全衛生に関する教育に力を入れ、労働災害率の低下につなげた実績を持つ。顧客からも高評価を受けたこ

とで、こうした人材教育を含めた職場環境改善策に潜在的なニーズを感じ取ったという。

また、人材派遣の稼働率がピーク時の約6割にとどまっている現状もあり、業容を拡大するべく、職場環境向上の支援に取り組む新規事業部「みやこラボ」を立ち上げた。

そして昨年、事業の一環として、取引先などを相手に単発的・短期的に実施したコーチングセミナーが好評を博したため、事業化を決めた。現在は、無料説明会や習い事の紹介サイトで受講生を募集している。

安本社長は「年間1000人の受講生を獲得するまで事業を広げたい」と意気込んでい